

(様式1)

評価及び取組報告書

令和8年1月21日

つくし幼稚園

園長 尾崎 絹子

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
<ul style="list-style-type: none">・水道の水の出る量の元栓を調節する。・トイレトペーパーの長さは決められた長さにする。・ごみの分別を行う。・職員間の印刷物はなるべく裏紙印刷を使用する。	<ul style="list-style-type: none">・保育室の退出時には電気を消す。・職員室の必要以上の電気は使用しない。・冷暖房は決められた温度で使用する。	<ul style="list-style-type: none">・園庭の落ち葉等を腐葉土に再利用し幼稚園の畑の肥料ややきいも大会に利用する。・廃材を利用した制作活動を行う。
独自メニュー		
<p>【園内での食育で地産地消】</p> <ul style="list-style-type: none">・土作りから収穫、試食までを食育とし、お米や季節の野菜の栽培を行っている。実際に食べるものがどのように成長していくのかを身近に感じ、興味や関心が持てるようにする。自分で育てたお米や野菜は愛着心も湧き、野菜嫌いな子どももがんばって食べられることもできたことで家庭でも食べられることに繋がり、良い食育となった。		

【園内での食育で地産地消】

・土作りから収穫、試食までを食育とし、お米や季節の野菜の栽培を行っている。実際に食べるものがどのように成長していくのかを身近に感じ、興味や関心が持てるようにする。自分で育てたお米や野菜は愛着心も湧き、野菜嫌いな子どももがんばって食べられることもできたことで家庭でも食べられることに繋がり、良い食育となった。



バケツ稲の土を取りに田んぼへ



トラクターの見学もしました



重くなったバケツを運びます



土の感触を楽しみながら代掻き



田植え



稲刈り



稲刈り



廃材を利用したの脱穀



JA 湘南さんによるもみすり



JA 湘南さんによるもみすり



お米パーティー



お米パーティー



お米パーティー



絵日記にして記録に残しました



落ち葉や生ごみを利用した腐葉土づくり



ゴミの分別化の徹底

2 講評・評価者からのアドバイス

評価者： ●学校（園）長 教職員 その他（ ）

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

P 計画 役割分担やメニューの 決定等について	計画を事前に行うことでリサイクルについて更に理解を深めることができた。
D 実施 取組内容や取組方法について、 全員で協力しているか	家庭から廃材を集めることで幼稚園と家庭で連携することができた。
C 記録・確認 取組状況を把握し、 確認をしているか	間違えたゴミが捨てられている場合は職員間で連絡をして分別の理解を行っている。
A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の 取組に活かされているか	同様の活動はスムーズに年間のスケジュールに取り入れることができている。
その他	

3 1年間で振り返った感想 児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。

毎年行う事が定着しているが繰り返すことで問題はないと捉えている。

4 来年度に向けて（見直し結果）

園児は毎年同じことを行うことは大切だが、職員の方で新しいことを発案して考えていく必要も感じたが、毎年園児は勿論や職員も入れ替わるので継続的に続けていくことに重きをおいて続けていきたい。